

地域の教育復興と 持続可能な未来の構築

～ 気仙沼教育復興の第一歩 現地報告 ～

東日本大震災からの復興のなかに、子ども達の学びの機会と質の確保はどのように位置づけられるべきでしょうか。今回、現地報告をいただく及川幸彦さんは、宮城県気仙沼市立面瀬小学校で教鞭をとっていらっしゃった時代から環境教育、国際理解教育を通じて ESD*1（持続発展教育・持続可能な開発のための教育）を実践されてきた先駆者であり、全国のユネスコスクール*2や ESD 実践に大きな影響を与えてきました。

3月11日、気仙沼市立中井小学校の教頭先生として、及川さんは地震・津波から子どもたちをどう守ったのか、震災の甚大な被害から気仙沼の教育復興をどのように進められようとしているのか、また ESD・ユネスコスクールの推進者としての現在のご心境などについて、お話をうかがいます。

及川さんの現地報告をうけて、「ポスト 3.11」の ESD が、また ESD 推進の拠点とされるユネスコスクールが、地域との、あるいは NPO/NGO や大学、企業など多様な主体とのかかわりのなかでどのようなべきか、語り合う機会としたいと思います。

*1 ESD : Education for Sustainable Development 持続発展教育・持続可能な開発のための教育。2005 年から 2014 年までが「国連 ESD の 10 年」であり、さまざまな取り組みが世界中で行われています。2014 年には「国連 ESD の 10 年」の締めくくりに国際会議が日本で開催される予定です。

*2 ユネスコスクール：ユネスコの理念を実現するために、平和や国際的な連携を実践する学校で、世界 180 の国や地域で約 9,000 校がユネスコスクールのネットワーク(UNESCO Associated Schools Network)に加盟して活動しています。日本では現在(2011 年 1 月現在)279 校が加盟しています。

日時

2011 年 6 月 11 (土) 14:30-17:00

入場

無料 定員(先着) 40 名

場所

聖心女子大学マリアンホール 1 階ブルーパーラー
東京都渋谷区広尾 4-3-1, 日比谷線「広尾」徒歩 5 分

プログラム

- 現地報告
及川幸彦
気仙沼市教育委員会 学校教育課 副参事
- コメンテーター
市瀬智紀
宮城教育大学 国際理解教育研究センター教授
永田佳之
聖心女子大学 文学部教育学科准教授
- [これから] ワークショップ
ファシリテーター：柴尾智子
ユネスコ・アジア文化センター(ACCU) 事業部次長

共同主催：  財団法人ユネスコ・アジア文化センター(ACCU)
「ESD の 10 年・世界の祭典」推進フォーラム

協力： 聖心女子大学・宮城教育大学 助成： 地球環境基金 

このワークショップは、地球環境基金の平成 23 年度助成を得て実施しています。

お問合せ・参加お申込み先： ユネスコ・アジア文化センター(ACCU)教育協力課

Tel: 03-3269-4559 Fax: 03-3269-4510 Mail: esd@accu.or.jp

①お名前 ②所属 ③連絡先(電話・メール) ④このイベントをどこで知ったか を添えてお申し込みください。